

日 時：令和6年10月26日（土）10：00～16：00  
場 所：JR新潟駅南口広場  
主 催：第31回「鉄道の日」北陸信越地方実行委員会  
参加者：延べ3,900名（イベント来場者）

「第31回鉄道の日記念イベント」が新潟市で開かれ、会場であるJR新潟駅南口広場では、管内鉄道事業者等によるブース出展をはじめ、様々な催しがおこなわれ、多くの鉄道ファン、家族連れで賑わいました。

北陸信越運輸局も「バリアフリー体験コーナー」を設け、老人性白内障になるとどのように見えるか体験できるゴーグルを用いたコーナーや、線状ブロック、点状ブロックとともに、鉄道イベントにちなんで「内方線付き点状ブロック」を組み合わせたコースを設置し、白杖を用いて歩いてみる体験コーナーを設置しました。

大人から子供まで多くの方に体験いただき、内方線付き点状ブロックの機能などそれぞれのブロックが果たす役割を理解いただくとともに、各種体験を通して目の不自由な方が駅を利用されときの気持ちを体験してもらうことで、声かけを通したホーム転落等の事故防止への啓発に繋がりました。

ホーム転落事故ゼロへ。

目の不自由な方が  
駅を利用され  
ときの気持ちを

1  
積極的に声をかけて  
みましょう。  
「お困りですか？」  
「お手伝いしましょうか？」など

2  
たとえ辞退されたとしても  
親切が無になることはありません。  
その優しさは必ず伝わります。

3  
突然体に触れたり、手を引いたり、  
目が不自由な方がお持ちの白い杖を  
つかんで引っ張ったりすると、  
びっくりさせて思わぬ事故につながる  
ことがあります。  
お手伝いされる場合は、  
十分な配慮をお願いいたします。

こんなところもポイントです。

危険が迫っているときは「危ないですよ！」と積極的に声かけをお願いいたします。